夢をもち　自ら動き　たくましく生活する　児童の育成

校長だより（保護者の皆様）

実りの秋～感動と挑戦があふれる音戸小学校に～

朝夕の風に涼しさが感じられ、秋の訪れを実感する季節となりました。

秋は、これまでの日々の取り組みを大きな「実り」へと変えていく絶好の季節です。今月は、**本校の子どもたちの学び、教職員の挑戦、体力を高める取り組み**をご紹介します。

子どもたちの学びと 先生たちの挑戦（第１回 授業研究）

第１回授業研究会では、４年生「一つの花」、６年生「模型のまち」という平和教材を取り上げた国語の授業を行いました。

子どもたち一人一人が、教科書に線を引いたり、ノートに自分の考えを書いたり、教材の文章から、考えたことをまとめていました。友達と考えを交流する場面では、「なるほど！」「それってどういうこと？」とつぶやき合い、対話を通して自分の考えを深めていく姿が見られました。

「文章に向き合う力をしっかり育てたい」――その一心で、苦悩してきた担任、一緒に教材研究をして共に授業づくりをしてきた教員。授業、協議会が終わったあと「お疲れ様でした。」と感嘆の声と拍手があふれました。

広島大学客員教授、細恵子先生からも沢山のご助言をいただきました。



１０月も３人の先生が研究授業を行い、授業力アップの挑戦を続けていきます。

「子どもたちが問いを見付け、自分の考えをもち、友達と交流しながら考えを深めていく学び」に向けて、音戸小学校一丸となって一歩ずつ確実に取組を進めてまいります。







「『一つの花』という題名には、お父さんがゆみ子にコスモスのように元気に育ってほしいという願いが込められていると思います。」（児童のノートより）

「『模型もまち』にたくさん出てくる『白』という表現は、亮が『ひろしま』のまちに興味のないことが表されていると思う。」（児童の発言より）



感動と発見がいっぱい！ 初の５・６年生合同修学旅行


明倫学舎の前で

今年度初の試みとして、５・６年生合同の修学旅行を実施いたしました。

雄大な秋吉台を見て「わあ、すごい！」と感嘆の声をあげるなど、本物の自然や歴史に触れて目を輝かせる５年生。そして、野外活動の経験を生かして下級生を優しく気遣い、時間を見極めながらてきぱきと行動する６年生の頼もしいリード。互いを高め合う素晴らしい姿が見られました。


ホテルの食事風景

見学先でメモ帳を手に熱心にノートを取る姿には、現地の方々からも「音戸小学校の子どもたちは実に熱心で素晴らしい。」と、感心と驚きの声をいただいたほどです。学校を離れた場所でも、自分で考え行動する姿に大きな成長を感じた２日間でした。修学旅行を支援していただいた多くの皆様に心より感謝いたします。

楽しみながら体力アップ！「投げるんジャー」と秋の運動習慣



子どもたちの体力向上、特に「投げる力」の向上を目指して教員が手作りした「投げるんジャー」（投げて飛距離を楽しむ教具）が大好評です！休み時間には、ビューンと音がこだまして、遠くへ投げようと楽しそうに挑戦する姿が見られます。学校にお越しの際に、よろしかったら、チャレンジしてみてください。運動委員会オリジナルの「室内トレーニング」も始めました。お子様に聞いてみてください。３分間走も再開です。



音戸っ子のチャレンジをご紹介します

９月３０日（水）１３時３５分より 〔音戸小図書室〕	**認知症サポーター学習５・６年** ※どなた様も参加できます。ぜひお越しください。
１０月３日（土）〔音戸文化交流会館うずしお下〕	**音戸町ふれあい朝市　参加**
１０月３日（土）〔音戸文化交流会館うずしお〕	**音戸の舟唄発表会　　参加**
１０月１８日（日）〔生涯学習センター〕	**呉市童話大会　代表者参加**
１１月　１日（日）〔音戸小運動場〕	**消防大会ステージ参加** ※今後、参加者を募集していきます

参加に関わり保護者や地域の皆様の温かいご理解とご支援をいただき、感謝申し上げます。